

平成24年度事業報告及び 歳入歳出決算の概要

血液事業特別会計



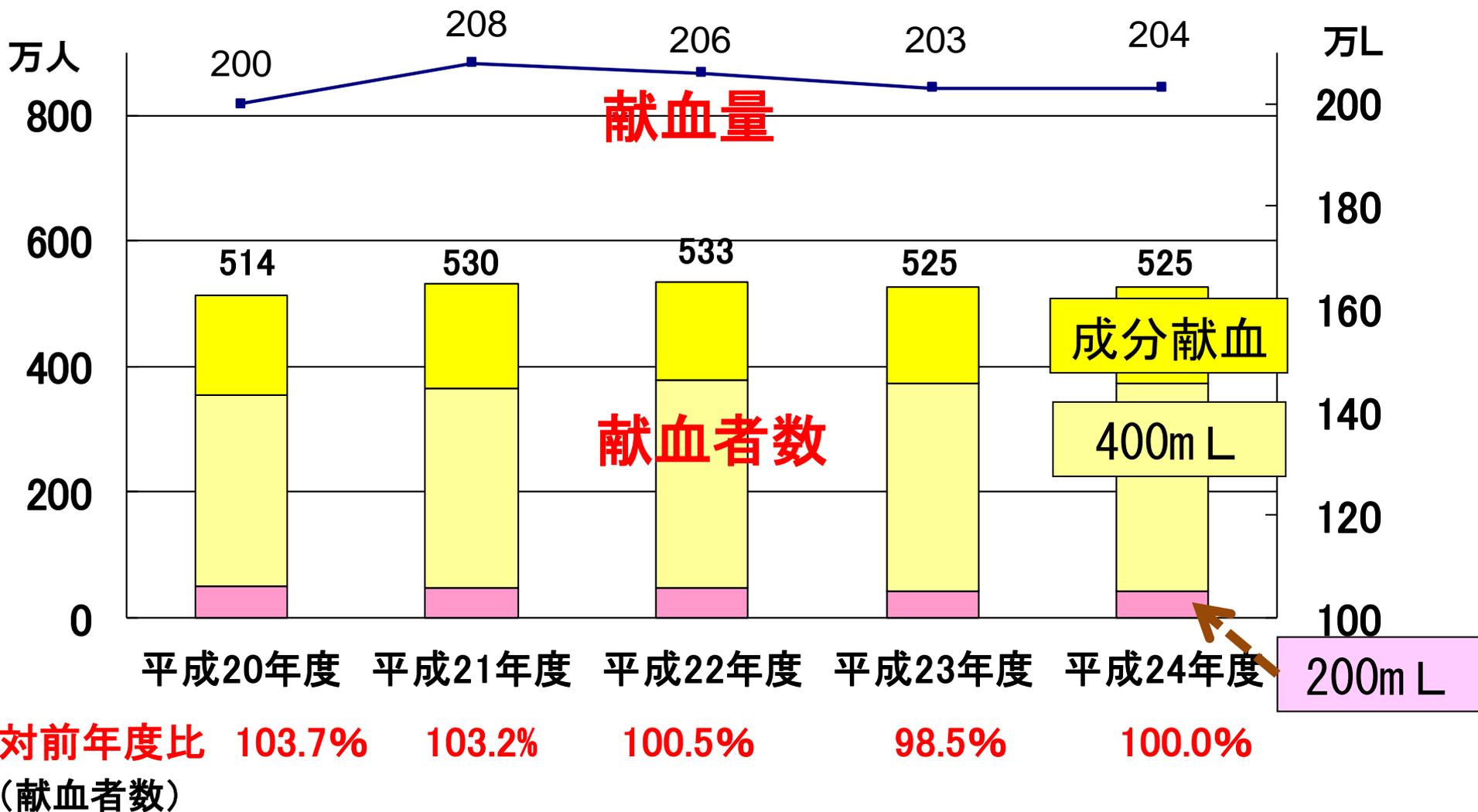
日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

血液センター(Blood Center)の事業概要

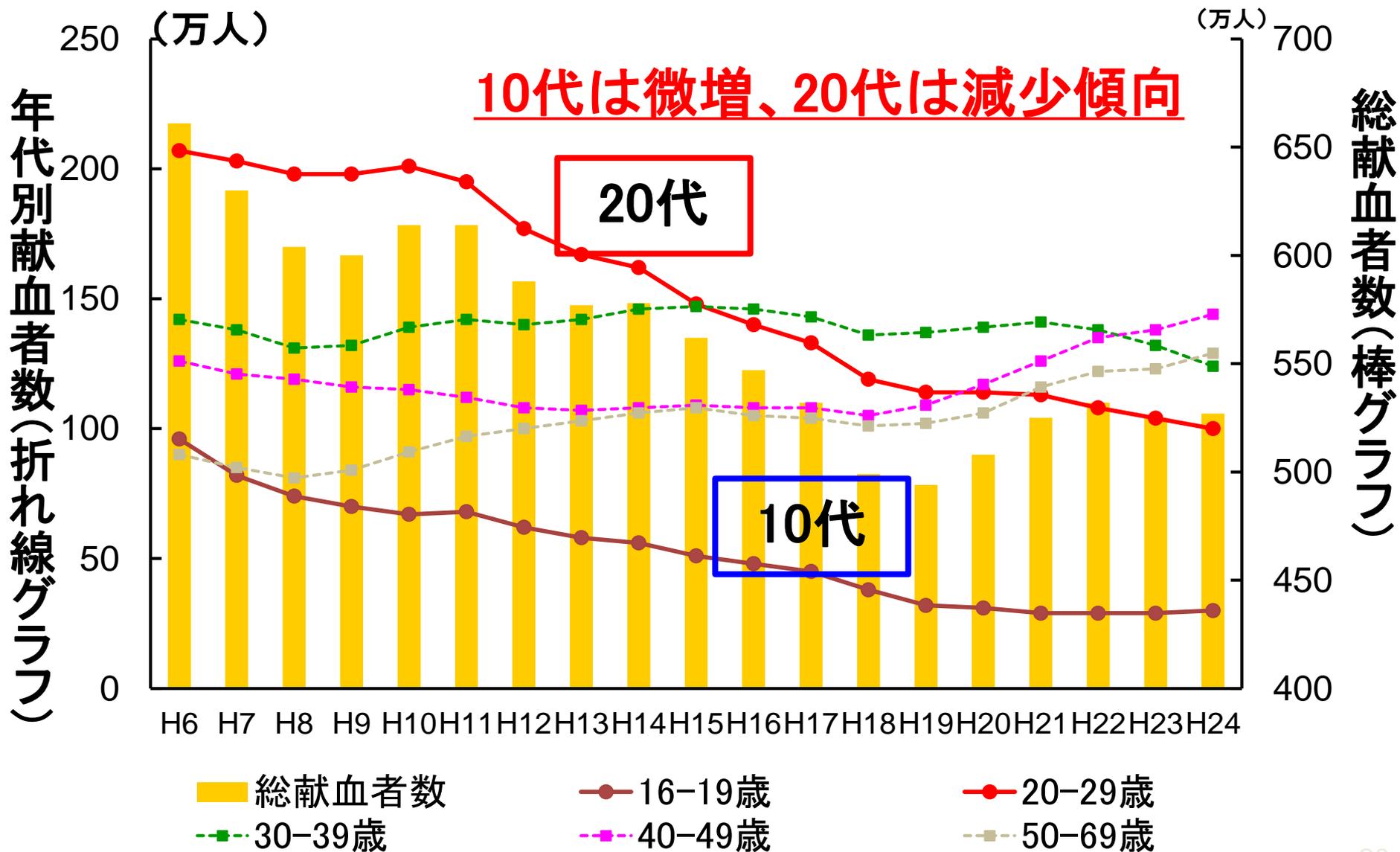
- 採血業・・・献血者からの採血
- 製造業・・・血液の検査と血液製剤の調製
- 販売業・・・医療機関への供給

1 血液事業における採血業（献血者からの採血）

（1）献血者数及び献血量の実績



(2) 年代別献血者層の推移



(3) 献血者の確保対策

ア 効果的な普及啓発、献血者募集等の推進

(ア) 若年層を対象とした推進対策

- ・ 広報媒体を活用した広報展開
- ・ 学校へ出向いての献血セミナーを積極的に実施

(イ) 献血者の年齢層に応じた推進対策

「キッズスペース」を備えた献血ルームの整備。



献血セミナーの様子

(ウ) 企業等における献血の推進対策

献血に協賛する企業や団体を募り、献血の推進を促した。

※平成24年度献血協賛企業・団体数

49,232社 (前年度比104.4%)

(エ) 複数回献血協力者の確保

複数回献血の協力を促進するため、学生の入学時期に合わせて加入促進キャンペーンを実施。

平成24年度複数回献血者数

1,003,778人 (前年度比100.2%)

平成24年度複数回献血クラブ会員数

666,536人 (前年度比132.6%)



複数回献血クラブ
入会促進キャンペーン実施中! 4月1日(日)〜5月31日(日)

複数回献血クラブ
会員募集中!
シヤ〜ポ
プレゼント!

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your rules.

www.jrc.or.jp

Love in Action
日本赤十字社

(オ) 献血推進キャンペーン等の実施

- ・LOVE in Actionプロジェクト
- ・はたちの献血キャンペーン
- ・いのちと献血俳句コンテスト 等

俳句コンテスト応募促進キャラバンの様子



はたちの献血キャンペーン

イ 安心して献血ができる環境の整備

(ア) 初回献血者への対応

- ・映像やリーフレット等を活用した事前説明
- ・学校献血会場における採血後の副作用防止

(イ) 検査サービスの実施

希望者への生化学検査成績、血球計数検査成績の通知サービスや健康相談等の実施

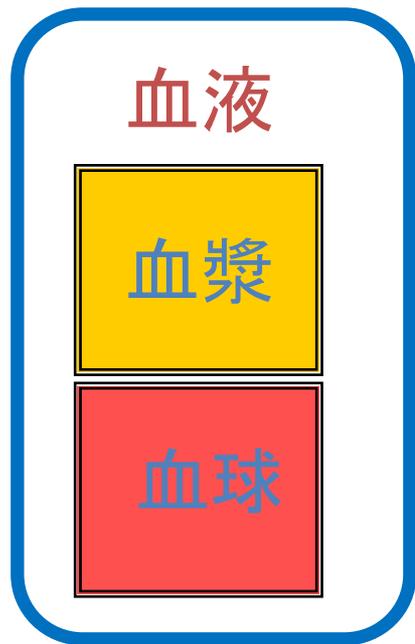
(ウ) 献血ルーム等の イメージアップ

休憩スペースの確保と地域の特性に合わせた献血ルームを整備



2 血液事業における製造業（検査と血液製剤の調製）

（1）主な血液製剤



輸血用血液製剤

- ①全血製剤 ②赤血球製剤 ③血小板製剤 ④血漿製剤



血漿分画製剤

- ①日赤ホリグロピンN注5% ②赤十字アルブミン ③クロスエイトM ④抗HBs人免疫グロブリン



(2) 安全対策

ア 輸血用血液製剤の 感染性因子低減化技術の導入

- ・E型肝炎ウイルスに対する低減化能測定
- ・低減化処理後の保存中に血小板の凝集塊が生じる原因を解明し、バッグの改良を指摘

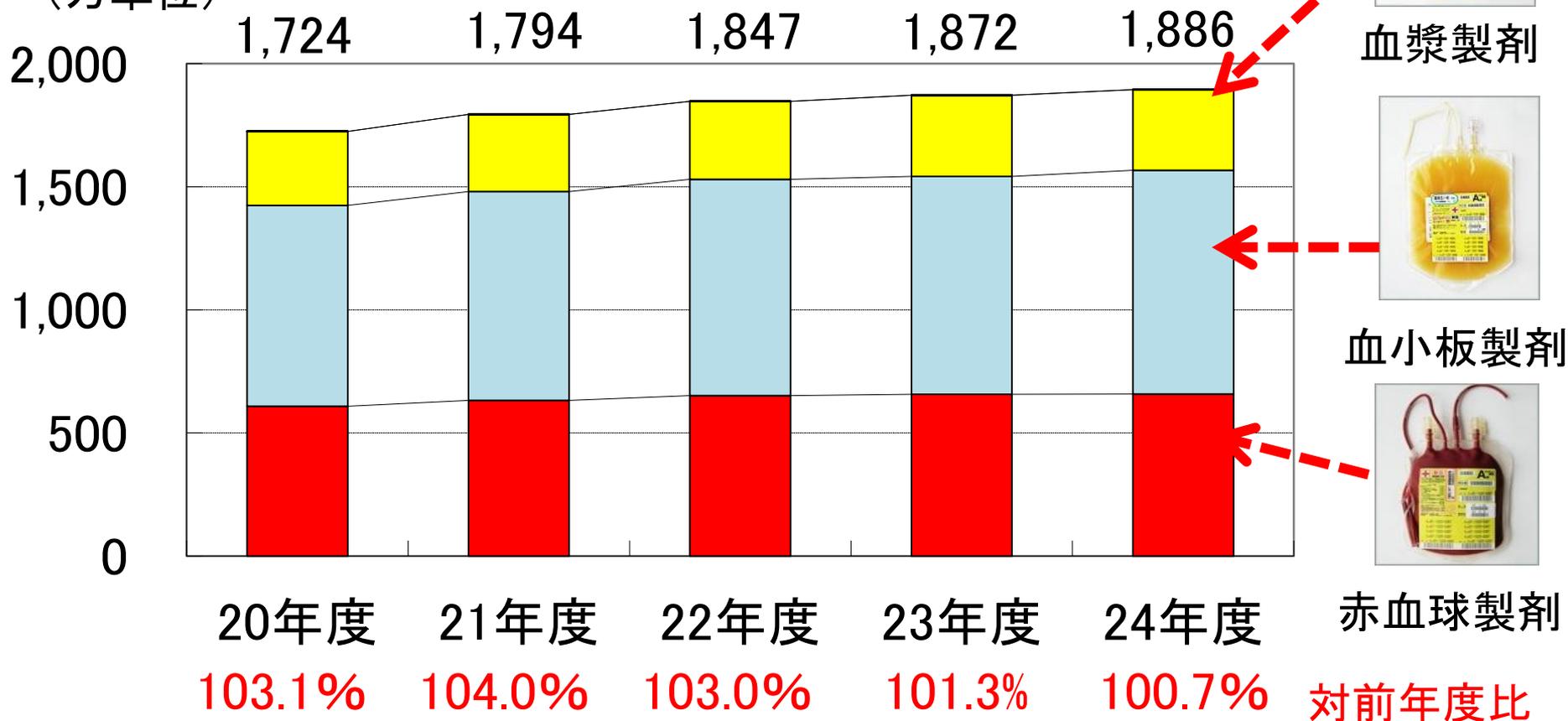
イ 輸血関連急性肺障害 (TRALI) 対策

- ・男性献血者由来の新鮮凍結血漿を優先的に製造する体制の整備

3 血液事業における販売業（医療機関などへの供給）

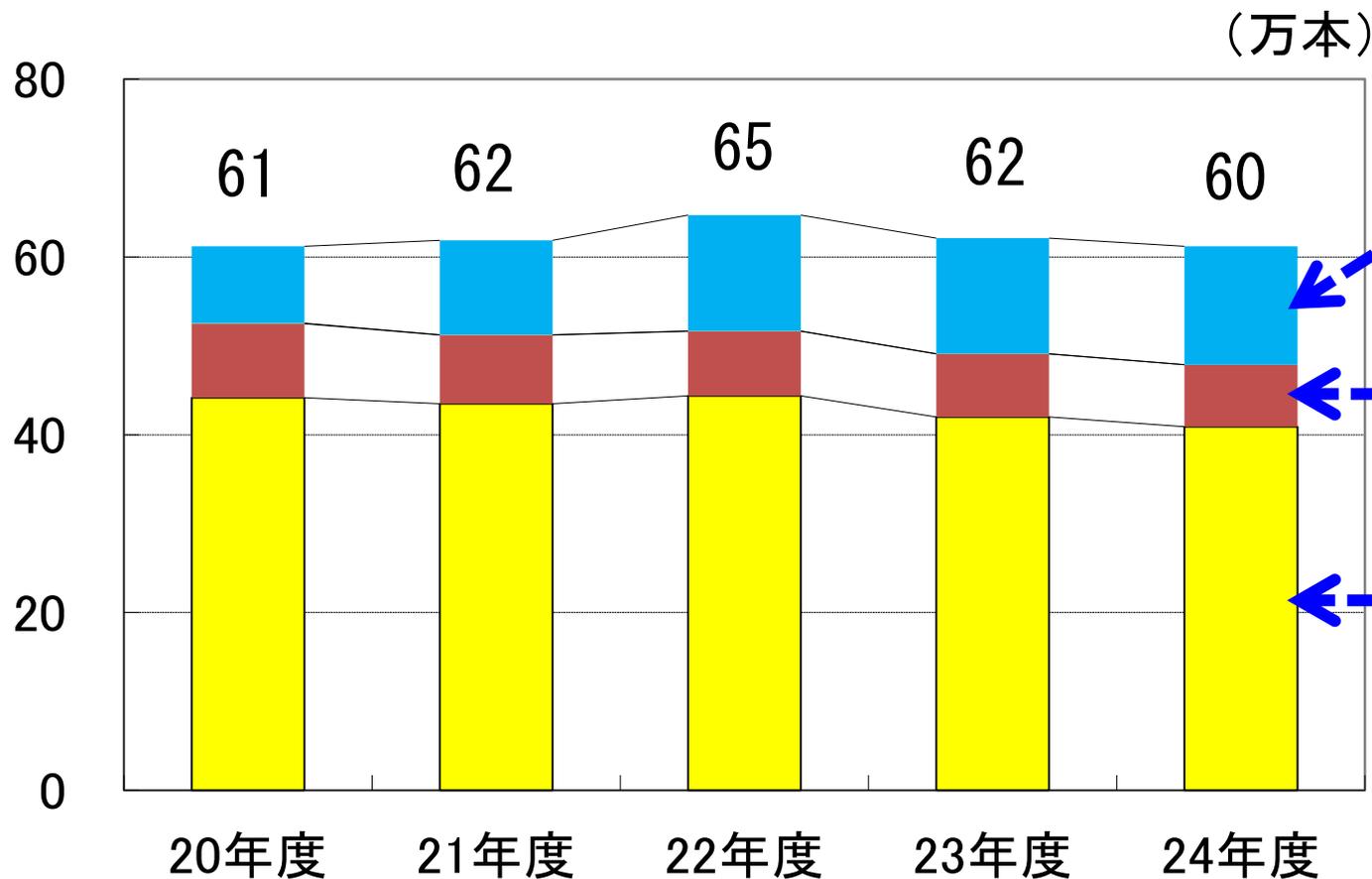
(1) 輸血用血液製剤の供給実績

200mL換算
(万単位)



※全血製剤の供給は少量のため、グラフ上に表示されません。

(2) 血漿分画製剤の販売実績



日赤ポリグロビンN



クロスエイトM



赤十字アルブミン

※日赤ポリグロビンN注5%は、2.5g/50mL換算
 クロスエイトMは、1,000単位換算
 赤十字アルブミンは、25%50mL換算
 ※抗HBs人免疫グロブリン(販売量が少量のためグラフ上に表示されません)

血漿分画製剤の国内自給率
アルブミン製剤 59.1%
グロブリン製剤 95.0%

(3) 供給体制の見直し

- ・供給施設から遠隔地にあり、且つ、血液製剤の搬送に緊急を要する救命救急センター、周産期母子医療センター及び新生児集中治療室(NICU)等の機能を有する地域中核医療機関に対し、迅速な血液製剤の供給が可能となるよう、新たな供給施設を整備(6カ所)しました。



4 広域事業運営体制の実施

平成24年4月から広域的な需給管理体制、血液事業の財政の一元化、これらの実施に伴う本社直轄のブロック血液センターを7か所に設置し、広域的な事業運営体制を開始し、平成24年度末までに検査業務を9か所、製剤業務を15か所に集約しました。

5 その他

(1) 国際協力の実施

アジア地域の赤十字・赤新月社から血液事業の関係職員を研修生として8名受け入れ、血液事業本部及び各ブロック血液センターにおいて、献血者の受入れや採血、血液検査、血液製剤の調製及び品質管理など血液事業の各分野の研修を実施。



(2) さい帯血バンク事業の実施

従来

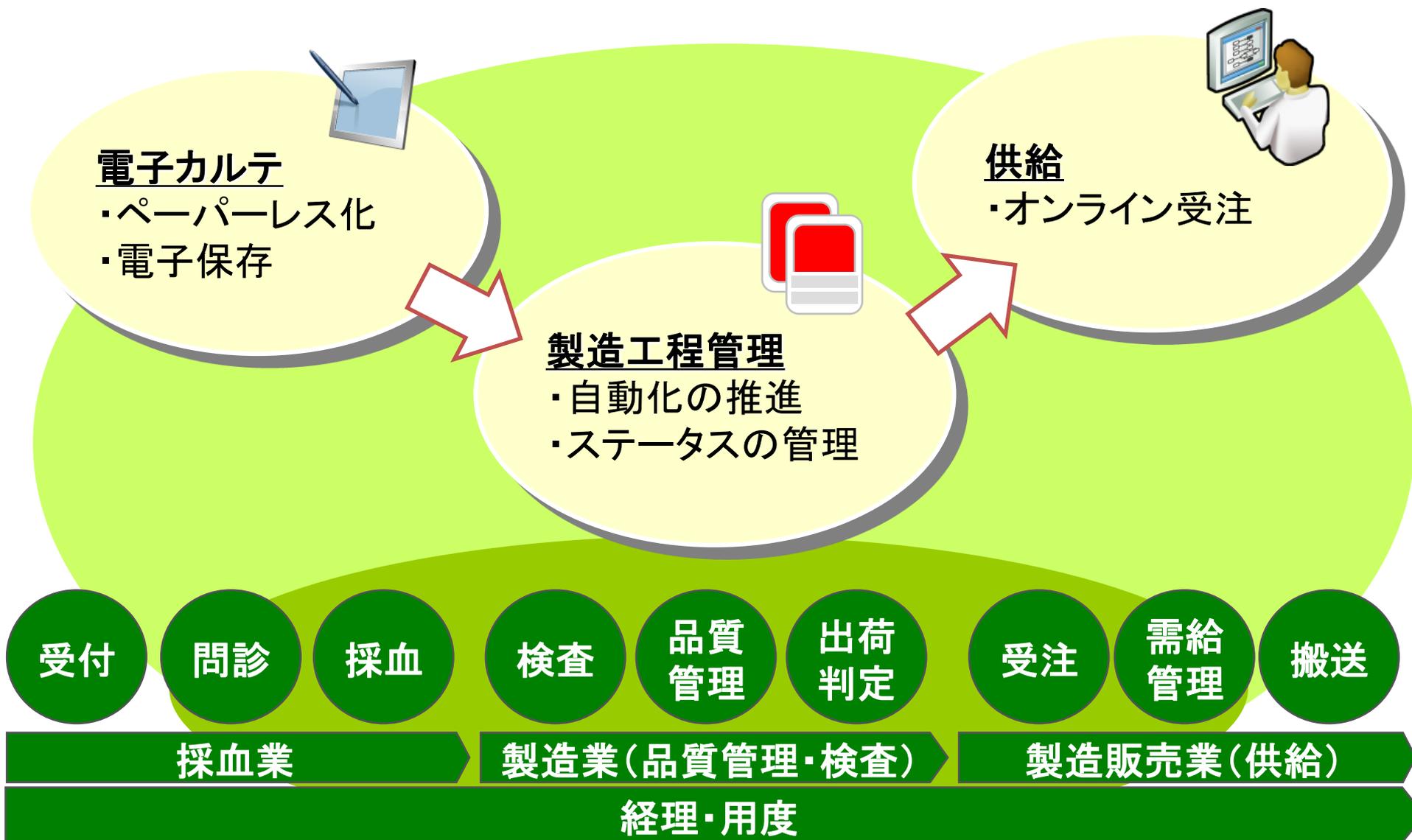
一部の血液センターにて、技術協力として実施



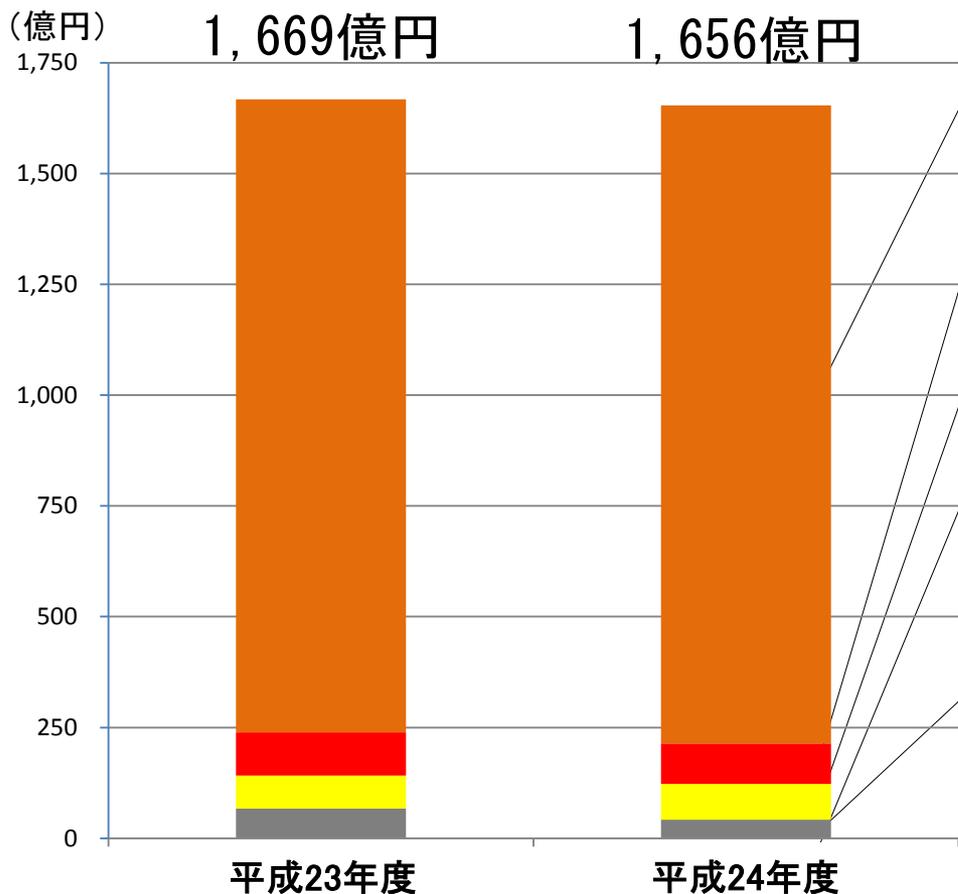
平成24年度～

4カ所のブロック血液センターにて、関連事業として実施

(3) 血液事業情報システムへの移行



6 血液事業特別会計 収益的収入のあらまし



血液製剤供給収益 12億円
 [1,428億円→1,440億円] 0.8%

分画製剤供給収益 △6億円
 [97億円→ 91億円] △6.2%

原料血漿供給収益 6億円
 [75億円→ 81億円] 8.0%

その他事業収益 0.1億円
 [1.7億円→ 1.8億円] 5.8%

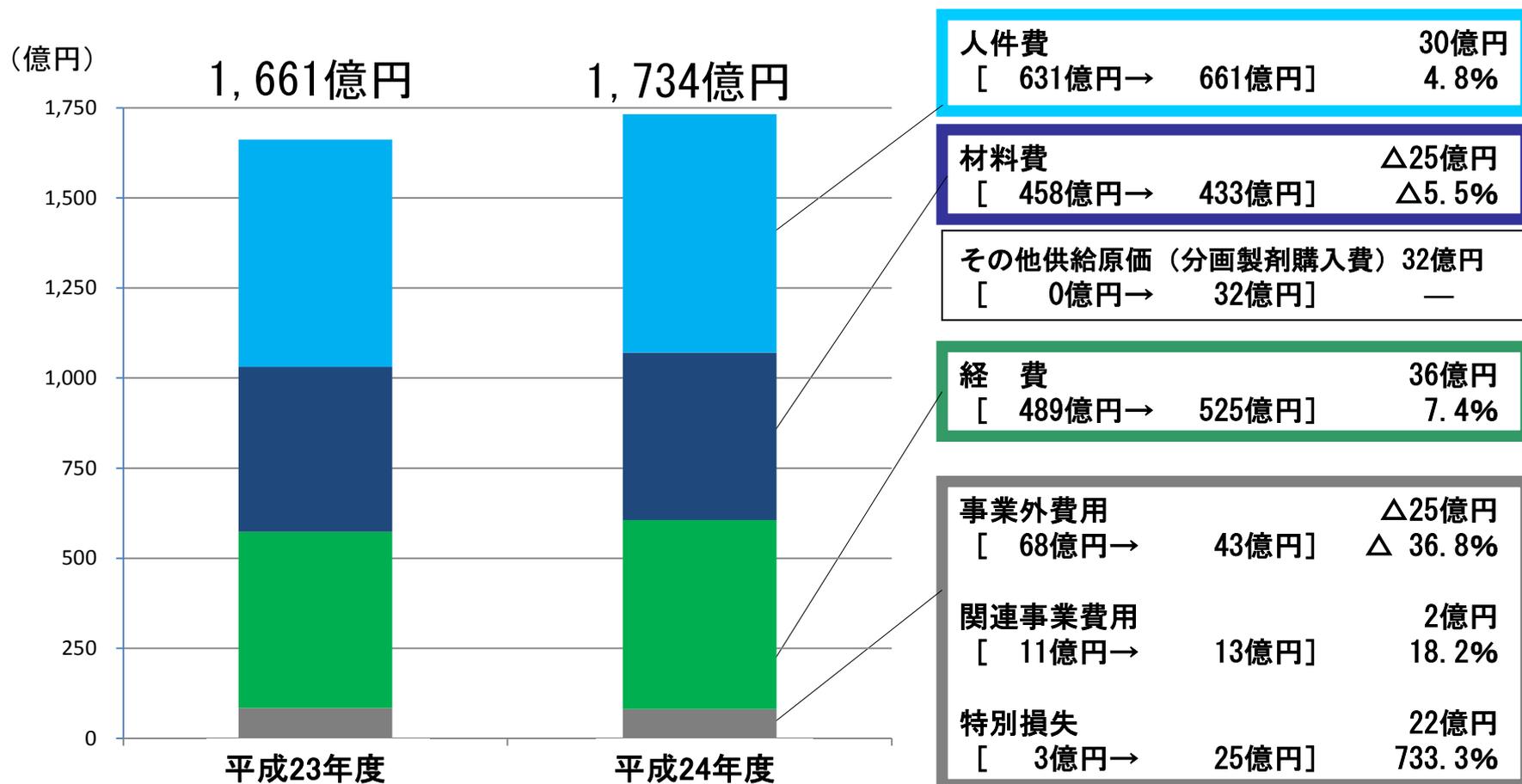
事業外収益
 [49億円→ 29億円] △20億円
 △40.8%

関連事業収益 2億円
 [10億円→ 12億円] 20.0%

特別利益 △6.99億円
 [7億円→ 0.01億円] △99.9%

	平成23年度	平成24年度	増減率
収益的収入合計	1,669億円	1,656億円	△0.8%

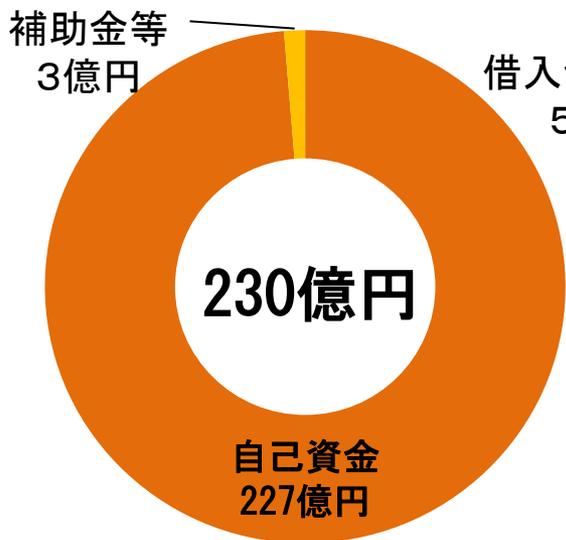
7 血液事業特別会計 収益的支出のあらまし



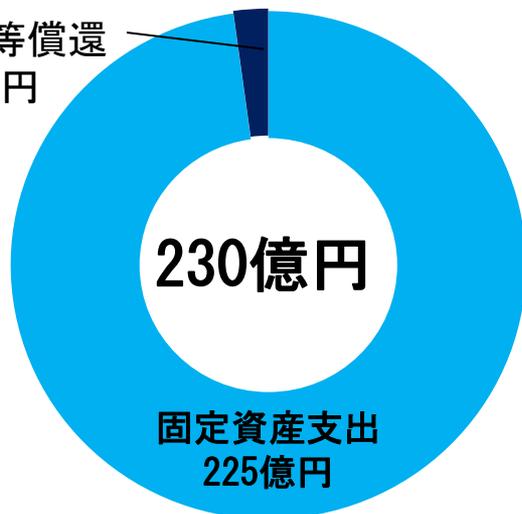
	平成23年度		平成24年度	増減率
収益的支出合計	1,661億円	→	1,734億円	4.4%
収支差引額	8億円	→	△77億円	—

8 血液事業特別会計 資本的収支のあらまし

【収入】



【支出】



北海道ブロック血液センター



中四国ブロック血液センター



固定資産支出・・・施設整備の状況

内 容	金 額
・血液センター(ブロックC・地域C)用地の取得	64億円
・ブロックセンター建設費用、新規出張所整備費用 等	94億円
・ブロックセンター機器整備、移動採血車、献血運搬車 等	37億円
・無形固定資産 (血液事業情報システムソフトウェア関係等)	30億円